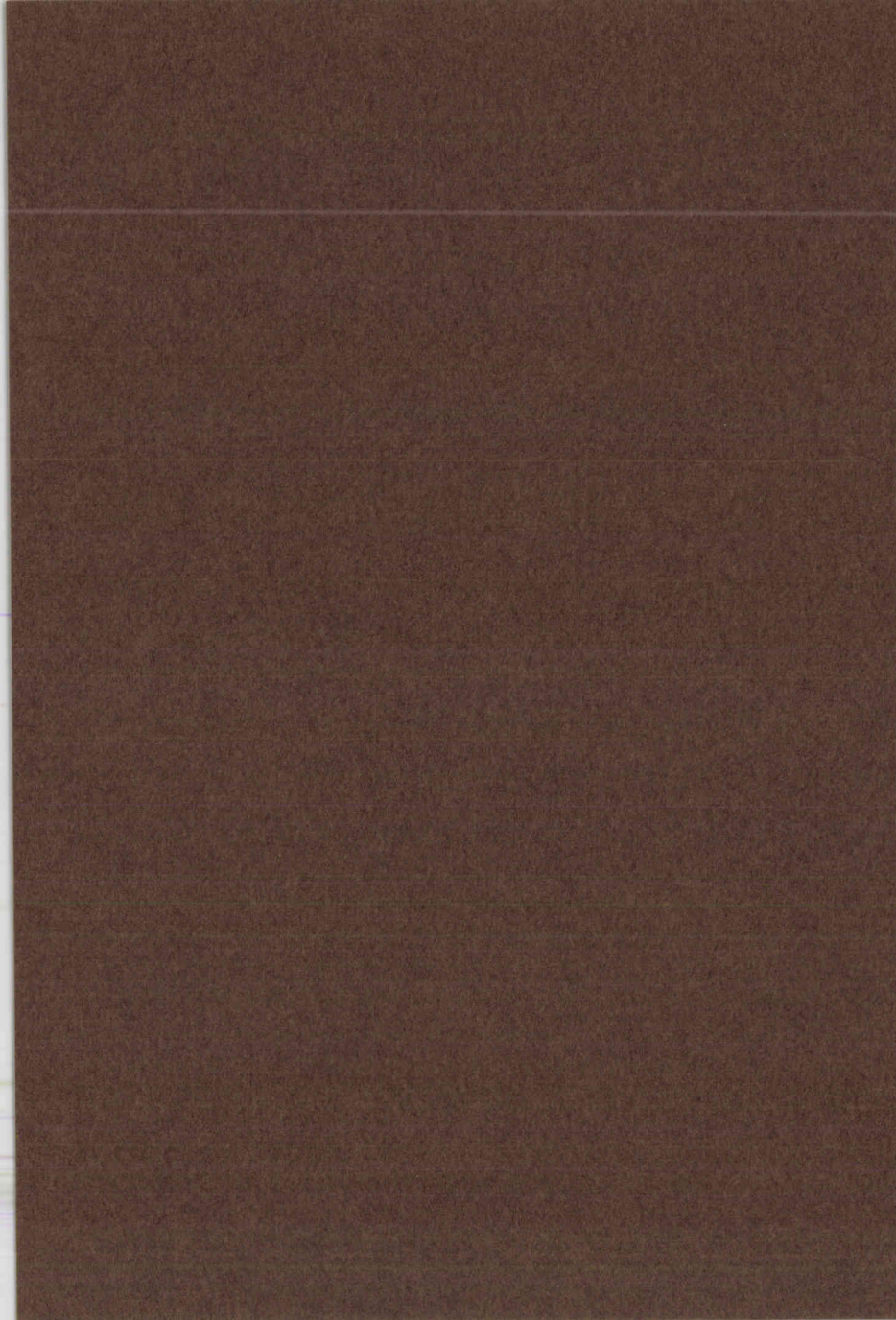


教 会 式 文



教 会 式 文

日本福音ルーテル教会

式 文 委 員 会

目 次

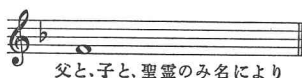
礼 拜 式	1
小児洗礼式	33
壮年洗礼式	39
堅 信 式	45
転 入 式	49

礼 拝 式

- * 初めに讃美歌を歌ってもよい。

讃 美 歌

- * 会衆は起立する，司式者は聖壇に向かって立ち，歌うかまたは唱える。



- * 会衆は歌うかまたは唱える。



ざ ん げ

- * 司式者は会衆に向かって言う。

主にある愛する兄弟姉妹よ，私たちはまごころをもって父なる神のみ前に近づき，私たちの罪をざんげし，主イエス・キリストのみ名によって，ゆるしをおねがいしましょう。

- * 司式者は聖壇に向かい，会衆とともに交互に歌うかまたは唱える。

- * 司式者と会衆はひざまずいてもよい。





* 司式者は言う。

私たちを造り、あがないたもうた全能の神よ、私たちは生まれながら罪深く、けがれにみち、思いと、ことばと、行ないによって、あなたのみ前に、多くの罪を犯しました。私たちは深くくいあらため、これらの罪を心から悲しみ、さんげいたします。私たちは主イエス・キリストによって、あなたの恵みをしたい求め、あなたの限りないあわれみのうちに身をゆだねます。

* 会衆は司式者とともに言う。

私たちのために、そのひとり子を死にわたされたあわれみ深い神よ、私たちをあわれみ、み子によってすべての罪をおゆるしてください。また聖霊によって、あなたとあなたのみ旨についてのまことの知識を増し加え、まごころからみことばに従わせ、恵みによって私たちを限りない命に入らせてください。私たちの主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

ゆるしの宣言

* 司式者は立ち、会衆に向かって言う。

天の父、全能の神は、私たちをあわれみ、私たちのためにそのひとり子を死にわたし、これによって、私たちのすべての罪をゆるしていただきました。

またみ名を信じる者には、神の子となる力を与え、聖霊をそそいでくださいます。信じて洗礼を受ける者は救われます。主よ、私たちすべての者に、この恵みをお与えください。

* 会衆は歌うかまたは唱える。



- * 会衆は起立する。
- * 司式者は聖壇の前に上がり、聖壇に向かう。
- * 讃美頌は聖歌隊が歌うか、または司式者が唱え、続いて会衆はグロリア・パトリを歌うかまたは唱える。

讃 美 頌

- * その日の讃美頌は32ページ以下にある。

グロリア・パトリ



* 司式者は会衆と交互にキリエの(一)または(二)を歌いまたは唱える。

キ リ エ

(一)

<司式者>	<会衆>
主よ、あわれみたまえ	主よ、あわれみ た ま え

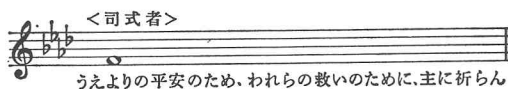
<司式者>	<会衆>
キリストよ、あわれみたまえ	キリストよ、あわれみ た ま え

<司式者>	<会衆>
主よ、あわれみたまえ	主よ、あわれみ た ま え

(二)

<司式者>
安らかに、主に祈らん
<会衆>
主よあわれみたまえ

<司式者>



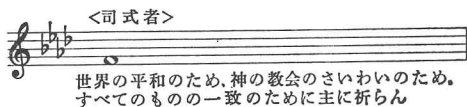
うえよりの平安のため、われらの救いのために、主に祈らん

<会衆>



主よあわれみたまえ

<司式者>



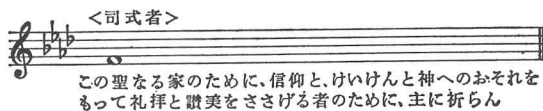
世界の平和のため、神の教会のさいわいのため。
すべてのものの一致のために主に祈らん

<会衆>



主よあわれみたまえ

<司式者>



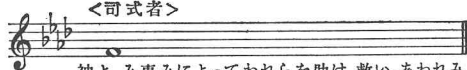
この聖なる家のために、信仰と、けいけんと神へのおそれをもつて礼拝と讃美をささげる者のために、主に祈らん

<会衆>



主よあわれみたまえ

<司式者>



神よ、み恵みによってわれらを助け、救い、あわれみ
護りたまえ

<司式者・会衆ともに>



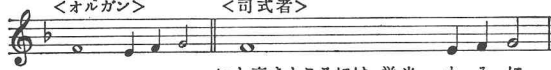
ア - メン

* グロリア・イン・エキセルシスを歌うかまたは唱える。

グロリア・イン・エキセルシス

* 司式者は歌うかまたは唱える。

<オルガン> <司式者>



いと高きところには、栄光 かみに

* 会衆は歌うかまたは唱える。

<会衆>



地には平和、主のよろこびたもうひとにあれ 全能の父、天の王、主なるかみよ



主をあかめ、主をたたえ 主をおかみ 主の大いなる栄光のゆえに

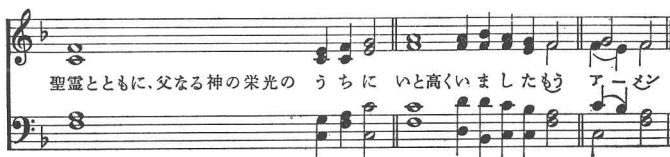
感 謝 し ま つ る ひとりのみ子、主 イエス キリ スト よ

世の罪をのぞきたもう、神のこひつじ 父のみ子、主なる か み よ

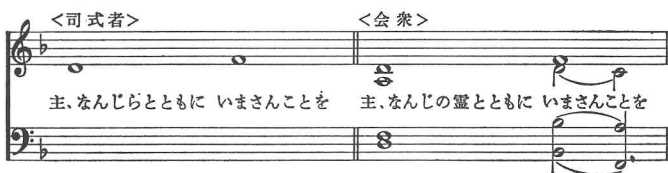
われらをあわれみた ま え 世の罪をのぞきたもう主 - よ われらの祈りをうけた ま え

父なる神の右に坐したもう 主 - よ われらをあわれみ た ま え

キリストこそ 聖 に し て キリストこそ 主 に い ま し



* 司式者は会衆に向かい、交互に歌うかまたは唱える。



* 司式者は言う。

ともに祈りましょう。

* 司式者は聖壇に向かい、その日の特祷をささげる。

特 祷

* その日の特祷は32ページ以下にある。

* 特祷のあと、会衆は歌うかまたは唱える。



* 会衆は着席する。

* ここでその日の旧約聖書の朗読をしてもよい。

* 司式者はその日の旧約聖書を次のように告げる。

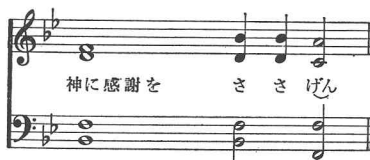
旧約聖書の日課は……書……章……節からはじまります。

旧約聖書

- * 朗読のあと司式者は次のように言う。

旧約聖書の日課はこれでおわります。

- * 会衆は歌うかまたは唱える。



- * ここで適当な讃美歌を歌ってもよい。

- * 司式者は、その日の使徒書を次のように告げる。

……主日の使徒書の日課は……の手紙……章……節からはじまります。

使徒書

- * 朗読のあと、司式者は次のように言う。

使徒書の日課はこれでおわります。

- * 使徒書のあとでその日のグラジュアルまたは期節のグラジュアルを聖歌隊が歌うか、または司式者が唱えてもよい。

グラジュアル

- * グラジュアルを用いないときは、会衆はハレルヤを歌うかまたは唱えてもよい。



* 受難節にはハレルヤの代わりに、次の頌を用いる。



* 司式者はその日の福音書を次のように告げる。

本日の聖なる福音書の日課は……福音書……章……節……から
はじまります。

* 会衆は起立して次のように歌うかまたは唱える。



* 司式者はその日の福音書を朗読する。

福 音 書

* 朗読のあと司式者は次のように言う。

福音書の日課はこれでおわります。

* 会衆は歌うかまたは唱える。



* 信仰告白を唱える。

* 祝祭日及び聖餐を行なう場合には、ニケア信条を用いる。

信 仰 告 白

(1) 使 徒 信 条

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。

われはそのひとり子、われらの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人のうちよりよみがえり、天に上り、全能の父なる神の右に坐したまえり、かしこより来たりたまいて、生ける人と死にたる人とを、さばきたまわん。

われは聖霊を信ず。また聖なる^{*}キリスト教会・聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、限りなきいのちを信ず、アーメン。

*「公教会」としてもよい。

(2) ニ ケ ア 信 条

われは唯一の神、全能の父、天と地と、すべて見ゆるものと見えざるものの造り主を信ず。

われは唯一の主イエス・キリストを信ず。主はよろず世のさきに父より生まれたる神のひとり子、神よりの神、光よりの光、まことの神よりのまことの神、造られずして生まれ、父と同質にして、すべてのものは主によりて造られたり。主はわれら人類のため、またわれらの救いのために天より下り、聖霊によりておとめマリヤより肉体を受けて人となり、われらのためにポンテオ・ピラトのもとに十字架につけられ、苦しみを受けて葬られ、聖書に従い三日目によみがえり、天に上り、父の右に座したまえり。また生ける人と死にたる人とをさばくために、栄光をもって再び来たりたまわん。そのみ国はおわることなし。

われは主にしていのちの与え主なる聖霊を信ず。聖霊は父と子

とよりいで、父と子とともにおがみあがめられ、預言者によりて語りたまひし主なり。われは唯一の聖なる使徒たちよりつたわりし^{*}キリスト教会を信ず。われは罪のゆるしのための唯一の洗礼を信認す。死者のよみがえりと来世のいのちを待ち望む。アーメン

*「公教会」としてもよい。

* 讃美歌を歌う。

讃 美 歌

* 次に説教者は説教をする。

* 説教の前に、説教者は次のように言ってもよい。

私たちの父なる神と、主イエス・キリストから、恵みと平安とが、あなたがたにあるように。

* 会衆は言う。

アーメン

説 教

* 説教がおわると会衆は起立し、説教者は次の祝福のこたばの一つを言う。

(1)

人知ではとうてい測り知ることのできない神の平安が、あなたがたの心と思いとを、キリスト・イエスにあって守るように。

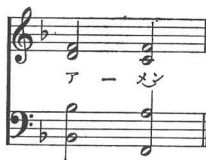
(2)

どうか、望みの神が、信仰から来るあらゆる喜びと平安とを、あなたがたに満たし、聖霊の力によって、あなたがたを望みにあふれさせて下さるように。

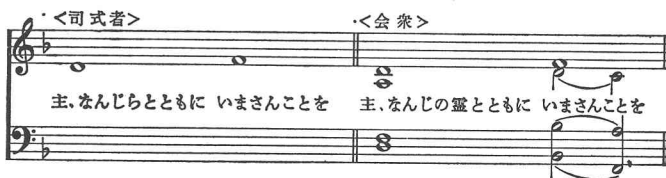
(3)

私たちのうちに働く力によって、私たちが求め、また思うところの一切をはるかに越えて、かなえて下さることができるかたに、教会により、またキリスト・イエスによって、栄光が世々限りなくあるように。

- * 会衆は歌うかまたは唱える。



- * 司式者は聖壇の前に出て会衆に向かい、交互に歌うかまたは唱える。



- * 司式者は言う。

そなえものを主にささげましょう。

- * 会衆は着席し、献金があつめられる。

献 金

- * 献金がささげられると、会衆は起立して、次の奉献唱の一つを歌い、または唱える。
- * 聖餐が行なわれるときには、司式者は奉献唱が歌われる間に、パンとブドウ酒を準備する。

奉 献 唱

(A)



わが—うちに—なおきれいをあらたにおこしたまえ

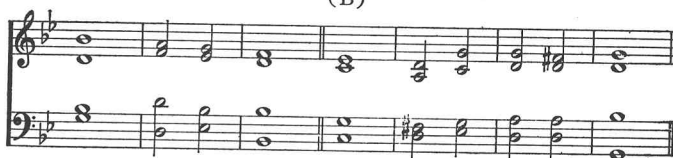
われをみまえよりすてたもうなかれなんじの

きよきれいをわれよりとりたもうことなかれ

なんじのすくいのよろこびをわれにかえし

自由のみたまをあたえてわれをたもちたまえ

(B)



(1)

ああ神よ、わがために、清き心を|つく|り||

わがうちに、なおき霊をあらたに|おこ|した|まえ||

われをみ前より、捨てたもう|なか|れ||

なんじのきよきみ霊を、われより取りたもう|こと|なか|れ||
なんじの救いのよろこびを、われに|かえ|し||

自由のみたまをあたえて、われを|たも|ちた|まえ||

(2)

神の求めたもうそなえものは、くだけたる魂|な—|り||

神よ、なんじは碎けたる悔いし心を、軽しめ|たも|うま|じ||

ねがわくは、み心にしたがいて、シオンに|さいわい|し||

エルサレムの石垣を|きず|きた|まえ||

そのとき、なんじ義のそなえ|もの|と||

燔祭と、全き燔祭とを、喜び|うけ|たま|わん||

(3)

われいかにして、その賜えるもろもろの恵みを、主に|むくいん|や||

われ感謝をそなえものとして|主に|ささ|げん||

われ主のみ名を、よび|まつ|らん||

われ救いのさかずきをあげて、主のみ名を|よび|まつ|らん||

われすべての民の|まえ|に||

わがちかいを|つぐ|のわ|ん||

エルサレムよ、なんじの|なかに|て||

主の家の大庭のなかにて、これを|つぐ|のうべ|し||

* 司式者は会衆に向かって言う。

ともに祈りましょう。

教会の祈り

* 司式者は教会の祈りの一つをささげる。

私たちの主イエス・キリストの父、全能の神よ、あなたの限りないみ恵みを心から感謝いたします。あなたは天地を創造してこれをすべおさめ、私たち人類の罪をあがなうために、救い主御ひとり子をくだして、み心とみ恵みとを現わして下さいましたことをほめたたえます。また慰め主なる聖霊と、聖なる教会と、めぐみの手段と、信仰あつい人々と、永遠のいのちを与えられたことを感謝いたします。どうか私たちの心のうちにまかれた種が、育ってよいわざの実を結び、あなたの恵みにむくいることができるようにしてください。

救い主、キリストのとうとい血によってあがなわれた全世界のキリスト教会を、助け守ってください。みことばが正しくのべられ、聖礼典が正しく行われて、キリストのからだである教会が強められ、愛が全うされ、地上にあるあなたの民がきよめられて一つとなり、あなたを証しすることができるようにしてください。

私たちの救い主キリストのからだにつらなるものを、あなたの光とまこととが、地の果にまでくまなく行きわたるために、用いてください。またこの世界に福音をのべつたえるために、忠実な牧師、宣教師を多くおこし、その働きを守り導いてください。ことにわが教会を祝福し、重い責任をとる教師たちの上に、あなたの恵みをゆたかに与えてください。

どうか教会のすべての教育事業、社会事業を祝し、これらの事業に従事するものを、みむねにかなうよう導いてください。そしてこれらの働きによって、あなたのみ名があがめられ、ますます

福音の光りをてりかがやかすことができるようにしてください。

私たちの愛する国家と社会を、祝し守ってください。それぞれの責任をもつ指導者に、知恵と力とを与えて、まことの正義が行なわれ、あなたをおそれ、あなたに喜ばれる国となり、すべての国民が、自由と平和と希望とにあふれた生活をいとなむことができるようにしてください。

愛にみちたもう神よ、どうか地上に平和を来たらせてください。世界の国々が助けあい、力をあわせて平和に向かって進み、恐るべき破滅に導く戦争の不幸を繰り返さぬよう、たがいに謙遜と愛の心をもつようかえりみてください。キリストの救いにあずかる私たちに、信仰と愛をもってこのために最善をつくすよう助けてください。

どうかみことばの光を、私たちの家庭にそそぎ、あなたをあがめ、きよい愛にむすばれた幸福な家庭生活をきずかせてください。ことにすべての親たちを導き、上よりの力を与えて、その幼い子供たちを正しい信仰に導き、喜んでみむねを行なう者となるよう養育させてください。またキリスト者の家庭をとおして、社会のうちにみ名があがめられ、みさかえが現わされるように助けてください。

憐みに富みたもう神よ、すべて悩みのうちにある者をかえりみてください。病床にある者、死に瀕する者に慰めといやしを与えてください。義のために苦しむ者に勇気を与え、測り知られぬみむねを示してください。旅にある者の旅路を守ってください。

その他困難や危険のうちにある者、絶望に追いこまれている者を助け導き、常にあなたの与えたもう大いなる希望に生きることができるようしてください。

神よ、地上におけるすべての人々の生活、職業、文化等の上にもぐみを与え、これをまもり、あなたの与えたもうこれらのたまものによって、ますますあなたをあがめることができますよう、

私たちを導いてください。

私たちはいま地上の生活を終わり、この世をはなれて、みもとに召されている多くの主にある兄弟姉妹を覚えて感謝します。私たちも召された聖徒たちとの交わりをたもち、永遠のみ国を望みつつこの世をおくりやがてみ国に入る喜びにあずからせてください。

* ここで特別の願い、感謝等を加えてもよい。

父なる神よ、これらのすべてと、その他あなたが必要と認められるものを、私たちに与えてください。死んでよみがえり、今も生き、聖霊とともに唯一の神として、世々限りなくすべおさめられるみ子、主イエス・キリストによって祈ります。

* 会衆は唱える。

アーメン

(2)

恵みとあわれみに富みたもう全能の神よ、

み子イエス・キリストにより、この聖日にもあなたのみ前につどい、この世のつとめから解放され、霊の平安を与えられ、信仰の糧を受けることができましたことを、喜び感謝いたします。愛しまつる父よ、あなたの愛のゆえに、この日も私たちのねがいを、みこころにとめてください。どうか、聖霊をもって、すべての者を従順にし、みことばの中に盛られているたまものを、よろこんで受け、正しく信仰をたもち、信仰による愛のわざにはげむものとしてください。私たちの教会を、邪悪やあやまりから救い出し、これをまもってください。教会とその事業に奉仕する者をたすけ、またみことばに奉仕する者を選び、忠実にそのつとめを果たし、主のみわざのために力強く働かせてください。

どうか、この国の政治のつとめに選ばれた者が、恵みのうちに守られ、正しい政治をなし、愛と平和の社会と国家の建設のために、誠実をもって奉仕するよう、みちびいてください。

地上におけるすべてのあらい、たたかい、いっさいの不安か

ら、また不正、にくみあいなどのあしきことから、私たちを守り、きよめてください。世界の人々が、互いにゆるし合い、たすけ合い、愛し合うようにみちびいてください。

私たちの家庭をかえりみ、あわれみのみ手をその上にのぼし、信仰とみころにかなう、よい生活をなし、主の御栄光をかがやかすことができますよう、祝福を与えてください。あやまった信仰を持つ者にも、愛をもって、み名をあかしすることを得させてください。

苦しむ者、また病んでいる者の霊肉を強め、苦しみのうちにも耐えしのび、深いあなたのみころをさとることを得させてください。

すべての悪とのたたかいの時に、あなただけが力強いたすけであることを信じ、あなたの恵み深い御約束を信じる者のさいわいを、強く覚えさせてください。

* ここで特別の願い、感謝等を加えてもよい。

愛の父よ、あなたの子らの祈りを、聖霊とともに唯一の神としてすべおさめたもうみ子、イエス・キリストによって祈ります。

* 会衆は唱える。

アーメン

(3)

天地の造り主、父なる神よ、み子イエス・キリストの苦しみと、死と、よみがえりとによって、何のいさおしもない私たちを、罪と永遠の滅びから救い出してくださったことを感謝いたします。

恵み深い主なる神よ、聖霊のおん働きによって、みことばの真理を私たちに明らかにし、父、み子、みたまの神であるあなたを信じることができるようにしてくださったことを感謝いたします。

全能の神よ、主がそのかしらであられる教会に、私たちを生きた枝として連ならせてくださったことを感謝いたします。

どうか、教会がみことばの宣教と、聖礼典の正しい執行とにお

いて、その尊い使命を熱心にまた忠実に果たしえますよう、助けてください。

恵み深い主よ、私たちの国と私たちの住む社会とが、主を恐れ、主を信じるものとなりますように恵み導いてください。また世界のあらゆる国の人々が、キリストの愛において互いに和解し、主のお喜びになるまことの平和を保つことを得させてください。

愛と平和のみなもとであられる主よ、私たちの家庭を祝福し、家族の全員が主を信じ、主に従うものとなりえますよう助けてください。

慈愛深い父よ、精神的に悩む者、物質的に苦しむ者、肉体的に病気その他の苦痛をなめている者など、主のみ助けを切実に求めている者の願いに耳をかたむけてください。そしてみこころのままに適切な助けを与えてください。ことに信仰に関することで、家族や隣人の誤解をうけ、または責められている者があれば、強め慰めてください。その人がかたく信仰に立って動くことなく、しばらくの軽いなやみはやがて永遠の重い栄光に至ることを信じて、すべてのことに耐え忍び、常に主をあがめるように導いてください。

この世を愛して、み子をさえおしまさずおくだしになった父なる神よ、主を信ずる者が、キリストの心を心として、主と隣人のため、愛と奉仕の生活をおくりえますように恵み助けてください。

* ここで特別の願い、感謝等を加えてもよい。

あなたと聖霊とともに、ひとりの神であって、世々限りなく生きてつかさどられるみ子、私たちの主イエス・キリストのみ名によって祈ります。

* 会衆は唱える。

アーメン

* 聖餐を行なわないときは、司式者と会衆はここで主の祈りを唱える。

* 聖餐を行なうときは、ここから22ページの讃美歌につづく。

主 の 祈 り

天にましますわれらの父よ、願わくはみ名をあがめさせたまえ。
 み国を来たらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもな
 せたまえ。われらの日ごとのかてをきょうも与えたまえ。われら
 に罪を犯すものを、われらがゆるすごとく、われらの罪をもゆる
 したまえ。われらを試みに会わせず、悪より救い出したまえ。

国と力と栄えとは、限りなくなんじのものなればなり。

アーメン

* 司式者は会衆に向かい、会衆と交互にベネディカムスを歌
 うかまたは唱える。

ベネディカムス



* 司式者は祝福を唱える。

祝 福

願わくは、主があなたを祝福し、あなたを守られるように、
 願わくは、主がみ顔をもってあなたを照し、あなたを恵まれるよ
 うに、

願わくは、主がみ顔をあなたに向け、あなたに平安を賜わるように、
 父と、子と、聖霊とのみ名により。

* 会衆は歌うかまたは唱える。



* または、

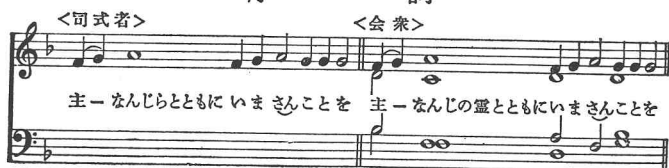


* ここで讃美歌を歌ってもよい。聖餐を行なわないときは閉会の讃美歌となり、聖餐を行なうときは聖餐のはじめの讃美歌となる。

讃 美 歌

* 会衆は起立し、司式者は会衆に向かって、序詞を交互に歌うかまたは唱える。

序 詞



<司式者> <会衆>

主なるか—みに 感謝をささげん そはなすべき だしき こと なり

* 司式者は聖壇に向かい唱える。

聖なる父、全能にして永遠にいます主なる神よ、私たちがいつでもどこでも、あなたに感謝をささげるのは、まことに正当で、正しく、有益です。

* 祝祭日または期節のための特別序詞をつづける。

* 該当する特別序詞がない場合には24ページの「ゆえに私たちは、天使と天使のおさ…」のことばを続ける。

特 別 序 詞

<降 臨 節>

あなたはあがないぬしの約束によって、あなたの民を慰め、あがない主が義をもってこの世をさばくため、再びこられるとき、すべてのものを彼によって新たにされます。

<聖 降 誕 日>

みことばが肉体となる神秘により、あなたは私たちに栄光の新しい啓示を与えられました。これはみ子のすがたのうちに、あなたを見るため、この見えないものを愛するようになるためです。

<顕 現 祝 日>

あなたは私たちのためにおんひとり子をくだし、人の姿において見えるものとなりたもうたひとり子のうちに、全きあなたの栄光を現わされましたゆえ、いま私たちはあなたをほめたたえます。

<受 難 節>

主は十字架の木の上で、人類に救いを与えられました。これは死が現われるところにはいのちもまた生きかえり、木によってひとたび勝ちを得た者は、私たちの主キリストにより、十字架の木によって同じく征服せられるためです。

＜復活節＞

ことに私たちは、あなたのみ子、私たちの主イエス・キリストの栄光ある復活のゆえに、あなたをほめたたえます。それはみ子がまことの過ぎ越しの羊であって、私たちのためにささげられて世の罪をとり除き、その死によって死をほろぼし、その復活によって、私たちに永遠のいのちを回復してくださったからです。

＜主の昇天日＞

ことに私たちの主イエス・キリストによって感謝をささげます。主は復活ののちすべての弟子たちにあきらかに現われ、私たちをその神性にあずかるものとするため、彼らの目の前で天にあげられました。

＜聖霊降臨日＞

私たちの主イエス・キリストによって感謝をささげます。主は天にのぼり、あなたの右にすわれ、お約束のとおり、選ばれた弟子たちに、この日聖霊がそそがれました。これにより、全地は大いなる喜びにあふれています。

＜三位一体祝日＞

あなたは御ひとり子と聖霊とともに唯一の神、唯一の主です。私たちは唯一のまことの神を告白し、位格において三つであり、本質において単一であられ、しかも同じみいつをもたれる神を礼拝いたします。

＜全聖徒の日＞

＜または世を去った信者を記念する時に用いる＞

ことに私たちの主イエス・キリストによって感謝をささげます。主はあなたの聖徒たちを祝福したもうことにより、私たちが召されている希望の、栄光ある保証を与えられました。私たちは彼らの模範に従い、彼らとの交わりによって強められ、あなたのめぐみを大いに喜び、彼らとともに栄光のうちに喜びます。

* 序詞または特別序詞につづいて、次のことばにうつる。

ゆえに私たちは、天使と天使のおさ、および天の群集とともに、あなたの栄光あるみ名をほめたたえ、常に主をあがめて言います。

* 司式者と会衆はともに「サンクトゥスとベネディクトゥス」を歌うかまたは唱える。

サンクトゥスとベネディクトゥス



* 司式者は設定辞及び主の祈りを唱える。

設 定 辞

私たちの主イエス キリストは 苦しみを受ける前日、パンを取り、感謝し、これを裂き、弟子たちに与えて言われました。「取って食べなさい。これはあなたがたのために与える私のからだである。私の記念のため、これを行ないなさい」。

食事ののち、杯をも同じようにして言われました。「取って、飲みなさい。これは罪のゆるしのため、あなたがたと 多くの人々のために流す 私の血における 新しい契約である。私の記念のため、これを行ないなさい」。

<主 の 祈 り>

天にましますわれらの父よ、願わくはみ名をあがめさせたまえ。み国を来たさせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの日ごとのかてをきょうも与えたまえ、われらに罪を犯すものを、われらがゆるすごとく、われらの罪をもゆるしたまえ。われらを試みに会わせず、悪より救い出したまえ。

* 会衆は共に唱える。

国と力と栄えとは、限りなくなんじのものなればなり。

アーメン

* 設定辞の代わりに、感謝の祈りを用いてもよい。

感謝の祈り

聖なるみ心を成就し、私たちの救いを成し遂げるために、私たちの主イエス・キリストは苦しみを受ける前日、パンを取り、感謝し、これを裂き、弟子たちに与えて言われました。「取って 食べなさい。これはあなたがたのために与える 私のからだである。私の記念のため、これを行ないなさい」。

食事ののち、杯をも同じようにして言われました。「取って、飲みなさい。これは罪のゆるしのため、あなたがたと 多くの人々のために流す 私の血における 新しい契約である。私の記念のため、これを行ないなさい」。

主なる全能の神よ。キリストの苦しみと死と、栄光の復活と、昇天、また再臨の御約束を思い、あなたに感謝をささげます。私たちは あなたのみ前に立ち、み子を記念します。

父なる神よ。あなたご自身が聖霊によってこれらのパンとぶどう酒を祝別してください。これを受ける者が一つとなり、信仰を堅くし、みことばと聖霊に満たされ、み子イエス・キリストによって、あなたを讃美するに至るよう導いてください。

(聖なる賜物を受ける私たちが天の祝福と恵みに満たされ、罪のゆるしを受け、体も心も清められ、主に喜ばれるすべての聖徒と共に、天の祝宴にあずかるに至るよう導いてください。)

すべての栄光と讃美が、教会において、キリストにより、聖霊と共におられるあなたに 世々限りなくありますように。

* 会衆は唱える。

アーメン

* 司式者は唱える。

私たちの救い主イエス・キリストが教えてくださったように。

祈りましょう。

天にましますわれらの父よ、願わくはみ名をあがめさせたまえ。
み国を来たらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもな
せたまえ。われらの日ごとのかてをきょうも与えたまえ。われら
に罪を犯すものを、われらがゆるすごとく、われらの罪をもゆる
したまえ。われらを試みに会わせず、悪より救い出したまえ。

* 会衆は共に唱える。

国と力と栄えとは、限りなく、なんじのものなればなり。

アーメン

* 司式者は会衆に向かい、交互に歌うかまたは唱える。

<司式者> <会衆>

主の平安、常になんじらとともにあらんことを なんじの霊とともにあらんことを

* 司式者と会衆はともにアグヌスデイを歌うかまたは唱える。

アグヌスデイ

世一のつみをのぞきたもう かみのこひつじよ

われらをあわれみたまえ 世一のつみをのぞきたもう



* 陪餐者は聖壇の前に進み聖餐を受ける。

陪 餐

* 司式者はパンを与えるときに言う。

あなたのために与えられたキリストのからだ。

* 司式者はブドウ酒を与えるときに言う。

あなたのために流されたキリストの血。

* 陪餐者は、パンとブドウ酒を受けるたびに「アーメン」と言ってもよい。

* 司式者は陪餐のあとで、または全部の配餐が終わったあとで、会衆に向かって言う。

私たちの主イエス・キリストのからだとその尊い血とは、あなたがたを強め、守り、永遠の命にいたらせてくださいます。

陪 餐 の 感 謝

* 会衆は起立し、司式者は会衆に向かい、交互に歌うかまたは唱える。

<司式者> <会衆>

主に感謝せよ、主の恵みは ふ か し 主のいつくしみは、とこしえにたえることなし

* 司式者は唱える。

全能の神よ、この有益な賜物をもって、あらたに力づけられましたことを感謝します。

どうか、み恵みによって、私たちを強め、ますます主を信じ、ますます互いに相愛することを得させてください。あなたと聖霊と共に、永遠に唯一の神であられ、世の終わりまで生きておおさめになるみ子、私たちの主イエス・キリストによってお願いします。

* 会衆は歌うかまたは唱える。

ア - メン

* 司会者は会衆に向かい、交互に歌うかまたは唱える。

<司式者> <会衆>

主、なんじらとともに いまさんことを 主、なんじの霊とともに いまさんことを



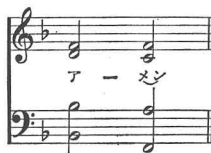
* 司式者は祝福を唱える。

祝 福

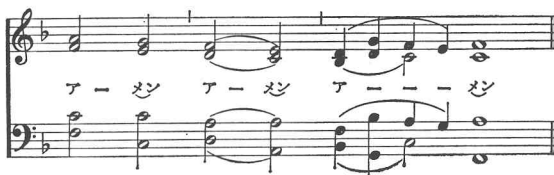
願わくは、主があなたを祝福し、あなたを守られるように、
願わくは、主がみ顔をもってあなたを照し、あなたを恵まれるよ
うに、

願わくは、主がみ顔をあなたに向け、あなたに平安を賜わるように、
父と、子と、聖霊とのみ名により。

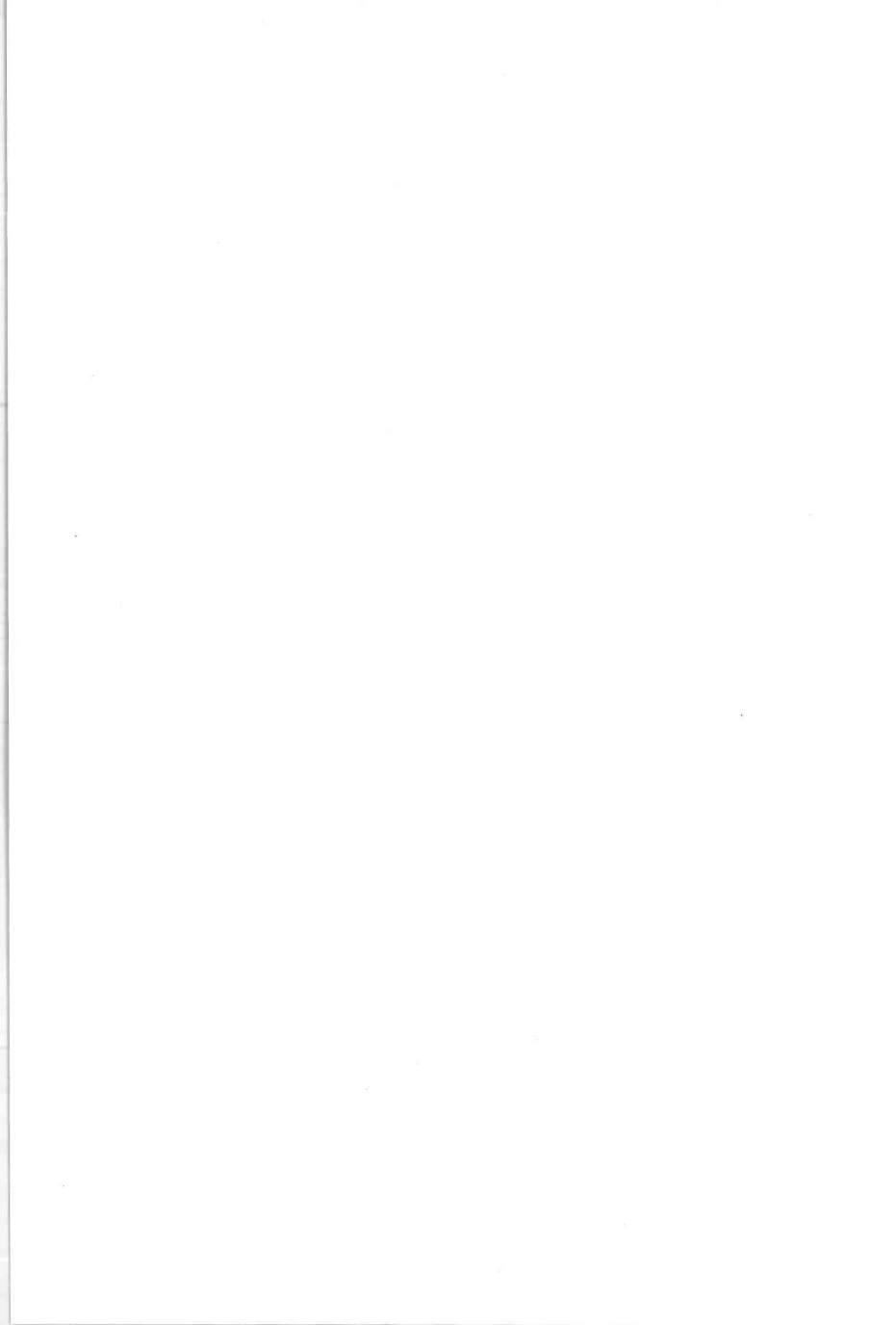
* 会衆は歌うかまたは唱える。



* または、



* このあとで讃美歌を歌ってもよい。



小児洗礼式

洗礼式は、教会の礼拝すなわち、通常礼拝又は特別の礼拝において行なう。事情によっては教会の礼拝以外でも行なうことができるが、この場合には、あとでおおやけに報告しなければならない。

洗礼を受ける小児の両親もしくはその一方または保護者、および教保は福音ルーテル教会の会員でなければならない。

両親もしくはその一方または保護者は、小児に、その誕生後できるかぎり早い時期に洗礼を受けさせるべきである。

両親もしくはその一方または保護者および教保は、小児洗礼の意義、小児のキリスト教養育、また長じては堅信礼を受けさせる責任について、牧師より指導をうけるものとする。洗礼は、原則として教会役員会の承認を必要とする。

受洗者の氏名、その誕生日、受洗日および場所は、両親、教保、授洗者の氏名とともに教籍簿に記入する。

- * 洗礼式の前後に讃美歌を歌ってもよい。
- * 会衆は着席する。
- * 洗礼式のみが単独に行なわれる場合、司式者は唱える。

父と、子と、聖霊のみ名により。

- * 会衆は唱える。

アーメン。

勸　　め

* 司式者は会衆に向かい、言う。

愛する兄弟姉妹よ、人はみな罪のうちに生まれるものであって、私たちの救い主イエス・キリストが言われたように、水と霊から生まれなければ神の国にはいることはできません。それゆえ、私たちは主イエス・キリストによって父なる神に呼び求め、神がその恵みとあわれみをもって、洗礼によりこの幼な子を受け入れ、聖なる教会の生きた枝としてくださるよう、お願いしましょう。

* ここで司式者は次のように唱えつつ、小児の額に十字の証印をしるしてもよい。

「主と、主の復活の力と、主の苦難にあずかることを知るに至るしるしとして、聖なる十字の印を受けなさい」

特　　祷

* 司式者は言う。

ともに祈りましょう。

* 司式者は聖卓に向かい祈る。

全能にして、永遠の神、私たちの主イエス・キリストの父よ。この幼な子のためにお願いたします。どうかこの幼な子に、洗礼の賜物と、生まれかわりの洗いによる永遠の恵みを与えてください。主よ、愛するみ子によって、「求めよ、そうすれば、与えられるであろう。捜せ、そうすれば、見いだすであろう。門をたたけ、そうすれば、あけてもらえるであろう。」と約束してくださったように、今この幼な子を受け入れてください。み子、私たちの主イエス・キリストによって祈ります。

アーメン。

み　　言

* 司式者は会衆に向かい、次の聖句のうち、いずれかを朗読する。

聖なるみ言を聞きましょう。

キリスト・イエスにあずかるバプテスマを受けた私たちは、彼の死にあずかるバプテスマを受けたのである。すなわち、私たちは、その死にあずかるバプテスマによって、彼とともに葬られたのである。それはキリストが父の栄光によって、死人の中からよみがえらされたように、私たちもまた、新しいいのちに生きるためである（ローマ 6：3-4）。

* または

イエスにさわっていただくために、人々が幼な子らをみもとに連れてきた。ところが、弟子たちは彼らをたしなめた。それを見てイエスは憤り、彼らに言われた。「幼な子らをわたしの所に来るままにしておきなさい。止めてはならない。神の国はこのような者の国である。よく聞いておくがよい。だれでも幼な子のように神の国を受けいれる者でなければそこにはいることは決してできない」。そして彼らを抱き、手をその上において祝福された（マルコ 10：13-16）。

主 の 祈 り

* 洗礼式のみが単独で行なわれる場合、司式者は一同とともに主の祈りを唱える。主の祈りを唱えるあいだ、司式者は受洗者の頭に手をおいてもよい。

天にましますわれらの父よ……。

誓 約

* 受洗する者が学齢に達している場合には、その年令に応じて短かい奨励をすることができる。

* 司式者は両親および教保に向かい、次のことを尋ね、両親は答える。

あなた（がた）はキリストにある愛をもって、この幼な子を、洗礼を受けさせるためにここに連れて来ました。それゆえ、あなたがたに勧めます。あなたがたは、この幼な子に十戒、使徒信条、主の祈りを教え、成長するにしたがいその手に聖書を持たせ、教会学校に出席させ、礼拝に伴い、キリスト教信仰へと養育し、堅

信礼を受けるに至るように、熱心にまた忠実に努めなさい。このようにして、この幼な子が洗礼の約束と、教会の交わりのうちにとどまり、イエス・キリストの日に至るまで、みこころにかなう生活を送るよう努めなさい。

それゆえ、幼な子のためにあなたに尋ねます。あなた（がた）は悪魔と、その業と、その道とをことごとく捨てますか。

答「はい、捨てます」。

あなたは天地の造り主、全能の父なる神を信じますか。

答「はい、信じます」。

あなたは、聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人のうちよりよみがえり、天に上り、全能の父なる神の右に坐したまい、かしこより来たりたまい、生ける人と死にたる人とを、さばきたもうひとり子、主イエス・キリストを信じますか。

答「はい、信じます」。

あなたは聖霊を、また聖なるキリスト教会・聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、限りなきいのちを信じますか。

答「はい、信じます」。

あなたは、幼な子がこのキリスト教信仰によって洗礼を受けることを願いますか。

答「はい」。

授 洗

私どもの主、イエス・キリストは言われました。

「わたしは、天において地においても、いっさいの権威を授けられました。それゆえに、あなたがたは行って、すべての国民を弟子として、父と子と聖霊との名によって、彼らにバプテスマを施せ。わたしは世の終りまで、いつもあなたがたと共にいるのである」。

* 代わりに、次の祈りをしてよい。

* 司式者は会衆に向かい、言う。

ともに祈りましょう。

* 司式者は聖卓に向かい、祈る。

全能にして永遠の神よ。あなたの愛するみ子、イエス・キリストは弟子たちに向かって「わたしは、天においても地においても、いっさいの権威を授けられた。それゆえに、あなたがたは行って、すべての国民を弟子として、父と子と聖霊との名によって、彼らにバプテスマを施せ」と命じられ、また、「世の終わりまでいつも、あなたがたと共にいるのである」と約束なさいました。どうか、あなたの民の祈りをかえりみ、いま洗礼を受けようとしているこの幼児に、満ちあふれる恵みを与え、この幼児が、あなたの忠実な選ばれた子らのひとりとして、いつまでもとどまり得るようにしてください。私たちの主イエス・キリストによって祈ります。

アーメン。

* 司式者は次のように尋ねてもよい。

「この幼な子は何という名まえですか」

両親または教保は、小児の名を答える。

* 司式者は次のように言いながら、水を三度小児の頭にそそいで洗礼を施す。

「――」よ。私はあなたに洗礼を施す。

父と、子と、聖霊のみ名により。アーメン。

洗 礼 の 祝 福

* 次に司式者は小児の頭に手をおき洗礼の祝福をする。

全能の神、私たちの主イエス・キリストの父は、水と聖霊とによってあなたを新たに生まれさせ、あなたのすべての罪をゆるしてくださいました。その恵みによって、あなたを強め、限りない生命に至らせてください。

アーメン。

あなたに平安があるように。

感謝の祈り

* 司式者は言う。

ともに祈りましょう。

* 司式者は聖卓に向かい、祈る。

あわれみ深い、全能の父なる神よ。恵みをもって教会をまもり、また広め、この幼な子を洗礼により新たに生まれさせ、あなたの子供、み国の世継ぎとして受けいれてくださったことを感謝いたします。どうか、恵みのうちにこの幼な子を守り、この幼な子があなたから離れることなく、いつもみこころに従って生活し、ついには永遠のみ国において豊かな約束の恵みを受けることができるようにしてください。あなたと聖霊と共にひとりの神であって、世々限りなく生きてつかさどられるみ子、私たちの主イエス・キリストによって祈ります。

アーメン。

祝 福

* 次いで司式者は祝福をする。

父と、子と、聖霊なる全能の神の祝福が、常にあなたがたとともにあるように。

アーメン。

* 式文の『奉献』につづく。

註) 小児洗礼式と壮年洗礼式は、『誓約』の部を別にして、

『洗礼の祝福』まで共通に行なうことができる。

壮年洗礼式

洗礼式は、教会の礼拝すなわち、通常礼拝又は特別の礼拝において行なう。事情によっては教会の礼拝以外でも行なうことができるが、この場合には、あとでおおやけに報告しなければならない。

壮年洗礼を志願するものは、聖書および、ルターの小教理門答書に示されている教理についての教育を受け、キリストに対する信仰を告白する者でなければならない。

洗礼は、原則として教会役員会の承認を必要とする。

洗礼を受ける者の教保は、福音ルーテル教会の会員でなければならない。

受洗者の氏名、その誕生日、受洗日および場所は、両親、教保、授洗者の氏名とともに教籍簿に記入する。

* 洗礼式の前後に讃美歌を歌ってもよい。

* 会衆は着席する。

* 洗礼式のみが単独に行なわれる場合、司式者は唱える。

父と、子と、聖霊のみ名により。

* 会衆は唱える。

アーメン。

勸　　め

* 司式者は会衆に向かい、言う。

愛する兄弟姉妹よ、人はみな罪のうちに生まれるものであって、私たちの救主イエス・キリストが言われたように、水と霊から生まれなければ神の国にはいることはできません。それゆえ、私た

ちは主イエス・キリストによって父なる神に呼び求め、神がその恵みとあわれみをもって、洗礼によりこのしもべ（ら）を受け入れ、聖なる教会の生きた枝としてくださるよう、お願いしましょう。

特 禱

* 司式者は言う。

ともに祈りましょう。

* 司式者は聖卓に向かい、祈る。

全能にして永遠の神、私たちの主イエス・キリストの父よ、このしもべ（ら）のためにお願ひいたします。どうかこのしもべ（ら）に、洗礼の賜物と、生まれかわりの洗いによる永遠の恵みを与えてください。主よ、愛するみ子によって、「求めよ、そうすれば、与えられるであろう。捜せ、そうすれば、見いだすであろう。門をたたけ、そうすれば、あけてもらえるであろう。」と約束してくださったように、今このしもべ（ら）を受けいれてください。み子、私たちの主イエス・キリストによって祈ります。

アーメン。

み 言

* 司式者は会衆に向かい、言う。

聖なるみ言を聞きましょう。

キリスト・イエスにあずかるバプテスマを受けた私たちは、彼の死にあずかるバプテスマを受けたのである。すなわち、私たちは、その死にあずかるバプテスマによって、彼とともに葬られたのである。それはキリストが父の栄光によって、死人の中からよみがえらされたように、私たちもまた、新しいいのちに生きるためである。（ローマ 6:3-4）。

主 の 祈 り

* 洗礼式のみが単独で行なわれる場合、司式者は一同とともに主の祈りを唱える。主の祈りを唱えるあいだ、司式

者は志願者の頭に手をおいてもよい。

天にましますわれらの父よ……。

誓 約

* 司式者は志願者に向かい、次のことを尋ね、志願者はこたえる。

私はあなたに尋ねます。

あなたは悪魔と、そのわざと、その道とをことごとく捨てますか。

答「はい、捨てます」。

あなたの信仰を告白しなさい。

答「われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。われはそのひとり子、われらの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人のうちよりよみがえり、天に上り、全能の父なる神の右に坐したまえり、かしこより来たりたまいて、生ける人と死にたる人とを、さばきたまわん。われは聖霊を信ず。また聖なるキリスト教会・聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、限りなきいのちを信ず。アーメン」。

あなたは、この信仰によって洗礼を受ける事を希望しますか。

答「はい」。

あなたは、この信仰によって生涯を送ることを約束しますか。

答「神の助けによって約束いたします」。

あなたは福音ルーテル教会の会員として、その教えを守り、つねに恵みの手段を尊び、また会員としての務めをまっとうすることを約束しますか。

答「神の助けによって約束いたします」。

授 洗

私どもの主、イエス・キリストは言われました。

「わたしは、天においても地においても、いつさいの權威を授けられました。それゆえに、あなたがたは行って、すべての国民を弟子として、父と子と聖霊との名によって、彼らにバプテスマを施せ。わたしは世の終りまで、いつもあなたがたと共にいるのである」。

* 代わりに、次の祈りをしてもよい。

* 司式者は会衆に向かい、言う。

ともに祈りましょう。

* 司式者は聖卓に向かい、祈る。

全能にして永遠の神よ。あなたの愛するみ子、イエス・キリストは弟子たちに向かって「わたしは、天においても地においても、いつさいの權威を授けられた。それゆえに、あなたがたは行って、すべての国民を弟子として、父と子と聖霊との名によって、彼らにバプテスマを施せ」と命じられ、また、「世の終りまで、いつもあなたがたと共にいるのである」と約束なさいました。どうか、あなたの民の祈りをかえりみ、今洗礼を受けようとしているこのしもべ（ら）に、満ちあふれる恵みを与え、このしもべ（ら）が、あなたの忠実な選ばれた子らのひとりとして、いつまでもとどまり得るようにしてください。私たちの主イエス・キリストによって祈ります。

アーメン。

* 志願者はひざまずく。

* 司式者は次のように言いながら、水を三度、志願者の頭にそそいで洗礼を施す。

「――」よ、私はあなたに洗礼を施す。

父と、子と、聖霊のみ名により。アーメン。

洗 礼 の 祝 福

* つづいて司式者は受洗者（各自）の頭に手をおき洗礼の祝福をする。

全能の神、私たちの主イエス・キリストの父は、水と聖霊とによってあなたを新たに生まれさせ、あなたのすべての罪をゆるしてくださいました。その恵みによって、あなたを強め、限らない命に至らせてください。

* 受洗者は言う。

アーメン。

聖霊の賜物のための特祷

* 司式者は言う。

ともに祈りましょう。

* 司式者は聖卓に向かい、祈る。

全能にして永遠にいます神よ、あなたは水と霊とによってこのしもべ(ら)を新たに生まれしめ、そのすべての罪をゆるしてくださいました。慰め主なる聖霊により、彼(ら)を強め、日々にあなたの豊かな恵みの賜物を増し加え、知恵と悟りの霊、思慮と力の霊、主を知り主を恐れる霊を、今も後も満たしてください。み子、私たちの主イエス・キリストによって祈ります。

アーメン。

按 手

* 司式者は受洗者(各自)の頭に手をおき、次の言葉を言う。

天にいます父は、イエス・キリストのゆえに聖霊の賜物をあなたのうちに新たにし、増し加え、あなたを信仰のうちに強め、恵みのうちに育て、苦しみに耐えさせ、永遠のいのちの祝福に満ちた望みを与えてくださいます。

* 受洗者は言う。

アーメン。

宣 言

* 受洗者は起立し、司式者は受洗者に向かい、言う。

あなたは、自らの信仰を告白し、聖なる洗礼にあずかりました。ゆえに、偉大なる王、教会のかしらであられる主イエス・キリスト

のみ名によって、私はあなたが主の聖餐の交わりに連なり、教会のすべての霊的権利にあずかり得ることを認めます。父なる神、み子なる神、聖霊なる神が、今も後もあなたを祝福し、守り、ささえたもうように。

* 会衆は起立する。

教会員への勧め

* 司式者は会衆に向かい、言う。

この教会の会員であるあなたがたに勧めます。イエス・キリストにおける兄弟であり、み国の世嗣であるこの兄弟（姉妹）を受けいれ、また神が聖霊によってこの兄弟（姉妹）のうちに始められたみ業をまっとうされるよう祈ってください。

* 司式者は、次に堅信者のための祈り（式文168ページ）を祈ってもよい。

祝 福

* 司式者は祝福する。

父と、子と、聖霊なる全能の神の祝福が、つねにあなたがたとともにあるように。

アーメン。

* 式文の「奉献」につづく。

註1) 壮年洗礼式と小児洗礼式は「誓約」の部を別にして、「洗礼の祝福」まで、共通に行なうことができる。

2) 壮年洗礼式と堅信式は「聖霊の賜物のための特禱」から共通に行なうことができる。

堅 信 式

堅信式は、教会の礼拝、すなわち通常礼拝又は特別の礼拝において行なう。事情によっては教会の礼拝以外でも行なうことができるが、この場合には、あとでおおやけに報告しなければならない。

堅信式を志願するものは、小児洗礼を受けたものであって、聖書およびルターの小教理問答書に示されている教理について教育を受けるものとする。

堅信式は原則として教会役員会の承認を必要とする。

堅信式を受けた者の教籍簿には、その日付けとともに司式者の氏名を記入する。

- * 礼拝の聖書日課朗読に先だって、次の中より聖書を朗読することができる。使徒行伝 8 : 14-17, ローマ 10 : 8-11, エペソ 2 : 13-22, ヨハネ 15 : 1-16, 伝道の書 12 : 1-17。
- * 堅信式の前後に讃美歌を歌ってもよい。
- * 会衆は着席する。

紹 介

- * 司式者は会衆に向かい、言う。

次の者は、キリスト教の信仰の教育を受け、教会において承認され、堅信式を受けるためにここに来ました。

- * 司式者は志願者の氏名を呼ぶ。
- * 志願者は聖壇に進む。

誓 約

- * 司式者は志願者に向かい、次のことを尋ね、志願者はこたえる。

愛する者よ、あなた（がた）はすでに聖なる洗礼によって、私たちの主イエス・キリストに受け入れられ、聖なる教会の会員とされた者であります。あなた（がた）は私たちの主のご命令に従って、神のみ言葉のうちに教育され、み旨と恵みの福音を学び、今、自らの信仰を告白して、堅信式を受けることを望んでいます。

それゆえ、私はあなた（がた）に尋ねます。

あなた（がた）は、悪魔と、そのわざと、その道とをことごとく捨てますか。

答「はい、捨てます」。

あなたが信じる信仰を告白しなさい。

答「われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。われはそのひとり子、われらの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人のうちよりよみがえり、天に上り、全能の父なる神の右に坐したまえり、かしこより来たりたまいて、生ける人と死にたる人とを、さばきたまわん。

われは聖霊を信ず。また聖なるキリスト教会・聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、限りなきいのちを信ず。アーメン」。

あなたは、この信仰と、洗礼の約束に堅く立ち、福音ルーテル教会の会員として、恵みの手段と祈りに忠実であることを約束しますか。

答「はい、神のみ助けによって約束いたします」。

聖霊の賜物のための特祷

* 司式者は言う。

ともに祈りましょう。

* 司式者は聖卓に向かい、緊る。

全能にして永遠にいます神よ。あなたは水と霊とによってこのしもべ(ら)を新たに生まれしめ、そのすべての罪をゆるしてくださいました。慰め主なる聖霊により、彼(ら)を強め、日々にあなたの豊かな恵みの賜物を増し加え、知恵と悟りの霊、思慮と力の霊、主を知り主をおそれる霊を、今も後も満たしてください。み子、私たちの主イエス・キリストによって祈ります。アーメン。

按 手

* 志願者はひざまずき、司式者は志願者各自の頭に手をおき、言う。

天にいます父は、イエス・キリストのゆえに聖霊の賜物をあなたのうちに新たにし、増し加え、あなたを信仰のうちに強め、恵みのうちに育て、苦しみに耐えさせ、永遠のいのちの祝福に満ちた望みを与えてくださいます。

* 堅信者は言う。

アーメン。

* 堅信者は起立する。

宣 言

* 司式者は堅信者に向かい、言う。

あなたはすでに聖なる洗礼にあずかり、自らの信仰を告白しました。ゆえに、偉大なる王、教会のかしらであられる主イエス・キリストのみ名によって、私はあなたが主の聖餐の交わりに連なり、教会のすべての霊的権利にあずかり得ることを認めます。父なる神、み子なる神・聖霊なる神が、今も後もあなたを祝福し、守り、ささえたもうように。

* 会衆は起立する。

教会員への勧め

* 司式者は会衆に向かい、言う。

この教会の会員であるあなたがたに勧めます。イエス・キリストにおける兄弟であり、み国の世継ぎであるこの兄弟(姉妹)を受

け入れ、また神が聖霊によってこの兄弟（姉妹）のうちに始められたみわざをまっとうされるよう祈ってください。

堅信者のための祈り

* 司式者と会衆は交互に唱えるか、または歌う。

司 主、なんじらとともにまさんことを。

会 主、なんじの霊とともにいまさんことを。

* 司式者は言う。

ともに祈りましょう。

* 司式者は聖卓に向かい、祈る。

全能にして憐み深い天の父なる神よ、み心にかなうすべてのことを望み、また行なうよう、私たちのうちに働きたまうかたは、あなただけです。どうか、あなたのしもべの内に始められたみわざを堅くしてください。それによって、これらのしもべをあなたの教会の交わりと、福音の信仰にとどまらせてください。誤まった教理、肉の慾、この世への愛着により、あなたから離れたり、告白した信仰から遠ざかることはありませんようにしてください。みことばに喜んで服従することにより、ますます深くあなたを知り、またあなたを愛し、すべての善きことばと行ないによって、あなたに仕え、同胞の祝福となり、み民の導きとなり、み名の栄光とならせてください。あなたと聖霊とともに唯一の神であり、世々限りなく生きておおさめになるみ子、私どもの主イエス・キリストによって祈ります。アーメン。

祝 福

* 司式者は祝福をする。

父と、子と、聖霊なる全能の神の祝福が、つねにあなたがたとともにあるように。アーメン。

* 式文の『奉獻』につづく。

註）堅信式と壮年洗礼式は『聖霊の賜物のための特祷』から共通に行なうことができる。

転 入 式

転入式はルーテル教会以外の教団から信徒が転入する場合に行なわれる。

転入式の前に牧師は次の点について充分留意すべきである。

- 1) 転入志願者が、父と、子と、聖霊のみ名により、水を用いて、洗礼を受けた者である事を確かめる。
- 2) 転入志願者に、聖書、およびルターの小教理問答書に示されている教理について指導をする。

転入志願者の受洗の事実が、調査をしても明確でない場合、および洗礼が父と、子と、聖霊のみ名により、水を用いて、正当に授けられていない場合は、洗礼を授けねばならない。

正当に小児洗礼を受けている小児の転入は、その小児の父母もしくはその一方、またはその保護者の転入にともなって、認められる。

転入志願者が青年期に達したものであっても、堅信式を受けていない小児洗礼受洗者である場合は、転入式を行なわず堅信式を行なう。

転入式は、教会の礼拝、すなわち通常礼拝または特別の礼拝において行なう。

転入者の氏名、転入の日付けは、転入者の誕生、受洗の日付け、場所および授洗者の氏名とともに教籍簿に記入する。

転入式の前後に讃美歌を歌ってもよい。

- * 会衆は着席する。
- * 志願者は聖壇にすすむ。
- * 司式者は志願者に言う。

愛するものよ、あなたは「——教団——教会」において、洗礼を受けましたが、このたび当教会に転入を希望し、転入式のためにここに来ました。それゆえ、私はあなた（がた）に次のことを尋ねます。

- * 司式者に志願者に向かい、次のことを尋ね、志願者にこたえる。

あなたは、父と、子と、聖霊のみ名により、水とみ霊によって洗礼を受けましたか。

答 「はい」。

あなたが信じる信仰を告白しなさい。

答 「われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。

われはそのひとり子、われらの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人のうちよりよみがえり、天に上り、全能の父なる神の右に坐したまえり、かしこより来たりたまいて、生ける人と死にたる人とを、さばきたまわん。

われは聖霊を信ず。また聖なるキリスト教会・聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、限りなきいのちを信ず。アーメン」

あなたは、この信仰に堅く立ち、福音ルーテル教会の会員として、恵みの手段と祈りに忠実であることを約束しますか。

答 「はい、神のみ助けによって約束いたします」。

祝 福

* 司式者は転入志願者の頭に手をおき、祝福の言葉を言う。

あなた（がた）はすでに聖なる洗礼によって、私どもの主イエス・キリストに受けいられ、その教会の会員とされたものであります。天にいます父は、聖徒の交わりと、みことばの賜物と、めぐみの手段をもってあなたを育て、永遠のいのちの祝福を与えてくださいます。

* 志願者は言う。

アーメン。

特 祷

* 司式者は聖卓に向かい、祈る。

全能にして永遠にいます神よ、今この兄弟（姉妹）をわれらの交わりに連らならせてくださることを感謝いたします。慰め主なる聖霊により、この兄弟（姉妹）を、聖徒たちとの交わりのうちにたもち、日々に豊かな恵みの賜物を増し加え、主と隣人のため、愛と奉仕の生活をおくる者としてください。み子、主イエス・キリストによって祈ります。

宣 言

* 司式者は転入者に言う。

教会のかしらであられる主イエス・キリストのみ名によって、私はあなたが主の聖餐の交わりに連なり、教会のすべての権利にあずかり得ることを認めます。

教会員への勧め

* 会衆に起立する。

* 司式者は会衆に向かい、言う。

教会の家族であるあなたがたにすすめます。

イエス・キリストにおける兄弟であり、み国の世継ぎであるこの兄弟（姉妹）を、あなたがたが受けいれ、一つのみ霊の中において、ともに父のみもとに近づくように。

* 司式者は祝福の言葉を言う。

父と、子と、聖霊なる全能の神の祝福が、常にあなたがたとともにあるように。

アーメン。

* 式文の「奉献」につづく。

一九六四年二月一日 初版発行
一九九一年十一月十五日 二〇版発行

分冊

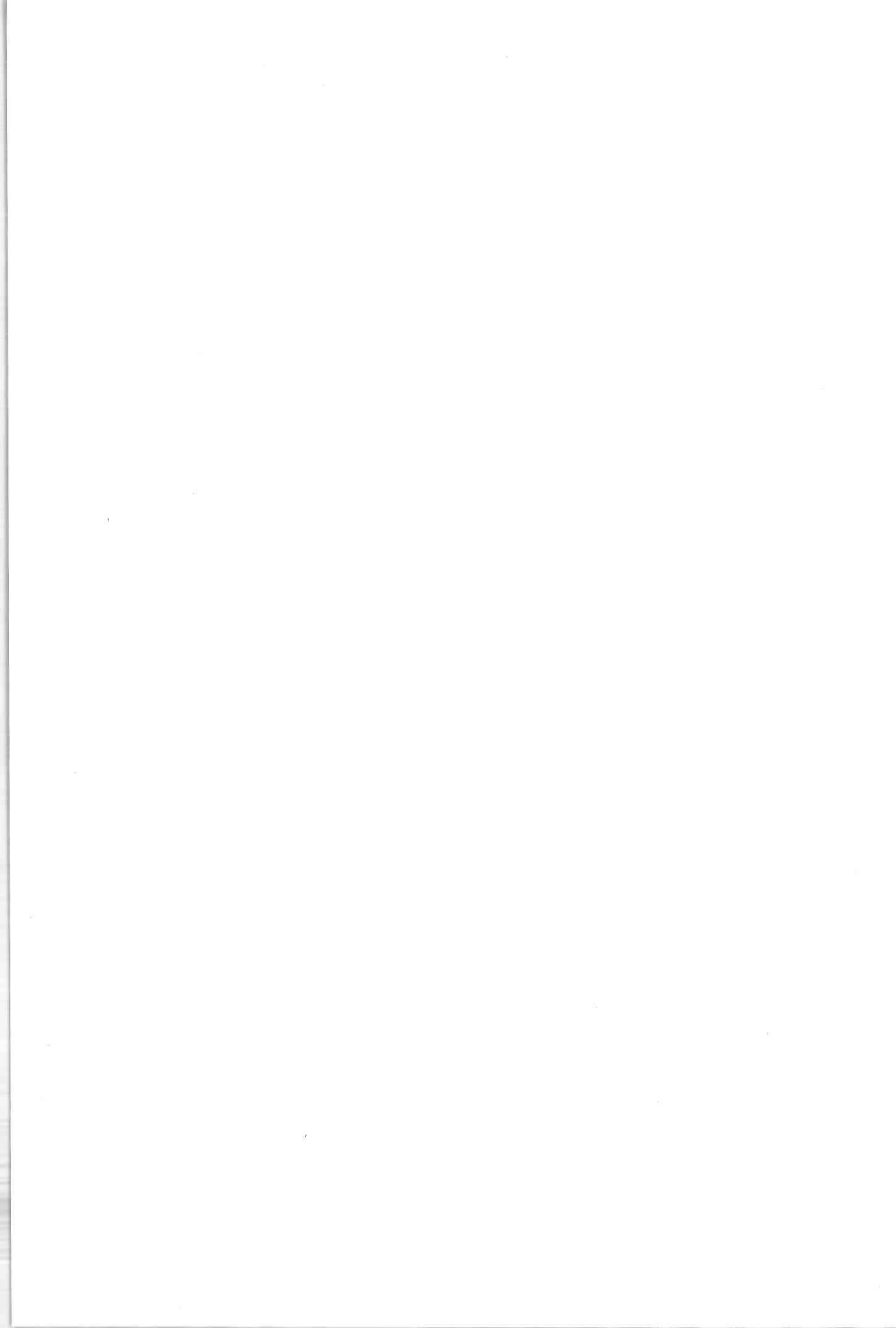
編纂 日本福音ルーテル教会
式文委員会

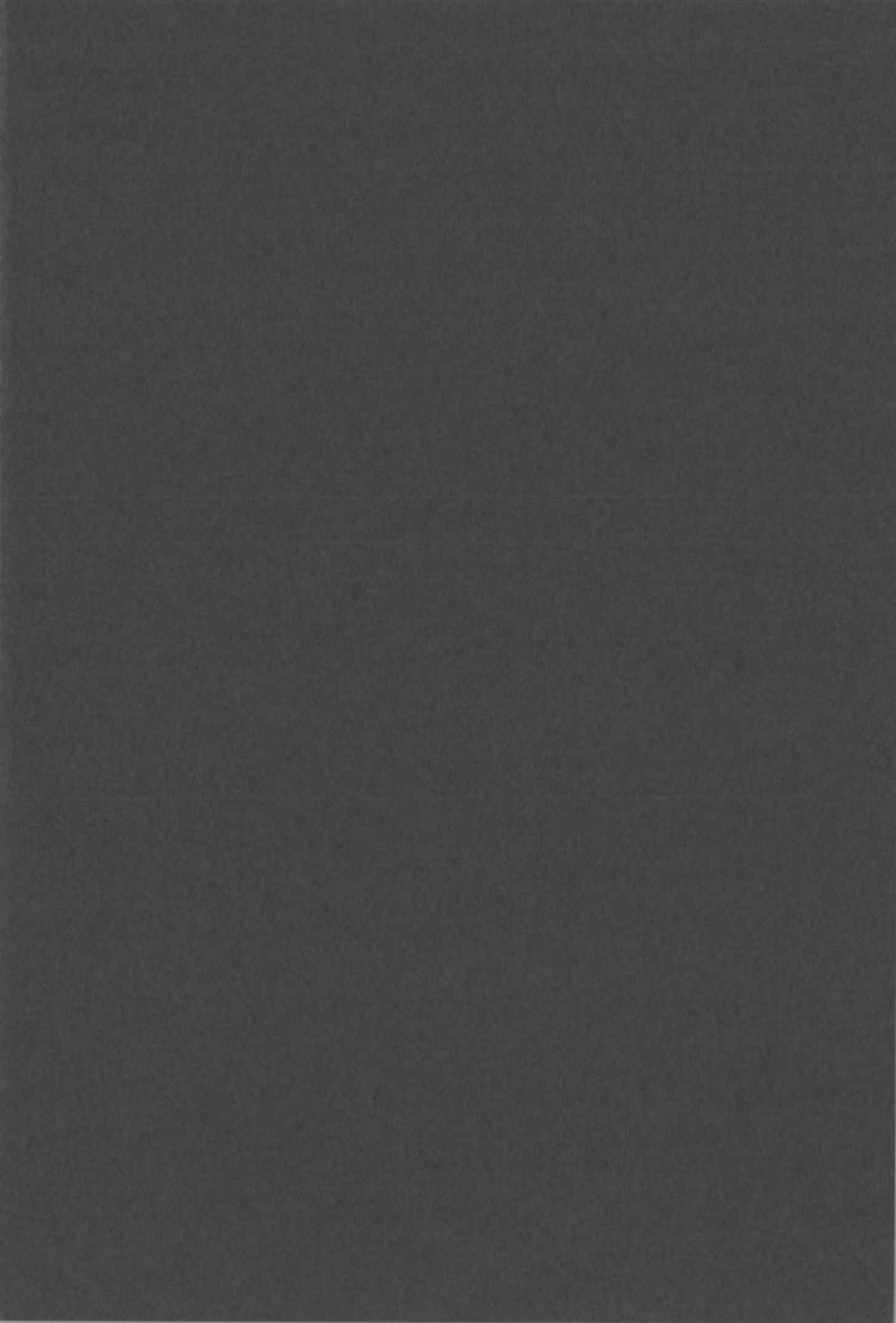
発行 日本福音ルーテル教会
出版部

162 東京都新宿区市谷砂土原町一―一
振替 東京 九一七一七三四

印刷 精文堂印刷株式会社

定価 310円 (本体 301円)





定価 310 円
(本体 301 円)